

会議録（要旨）

1. 開会
 2. 委員長あいさつ
 3. 事務局紹介
 4. 議事
- (1) 令和3年度八潮市協働のまちづくり推進事業助成金助成事業の実績報告について
＜事務局説明＞
資料に基づき、事務局より説明を行った。

実績報告会

事務局による説明の後、令和3年度助成した2団体から実績報告を発表した。

①八潮の地名から学ぶ会

「リーフレット“方言漢字マップ”（全国編）製作」

＜質疑応答＞

- イベントの開催にあたってどのように周知したのか。
 - ↳ 方言漢字マップ埼玉県編について、全国から700件強の資料請求があり、資料送付の際に第4回方言漢字サミットが開催予定であることを併せて伝えていた。
 - 開催の約1カ月前に、資料を送った方へ葉書によるダイレクトメールを送付し、Zoomによるオンライン配信も行うことを周知した。また、団体のブログによる周知を行った。
 - サミットの回数を重ねるごとに参加者数を拡充していくためにも、今後も周知方法は工夫していきたいと考えている。

② 快適育児おうえん隊

「いきいきママの快適育児教室」

＜質疑応答＞

- 活動はこれからも継続していく予定か。
 - ↳ 4月から同じ内容で講座を開催している。
- 活動を継続するにあたり行政からバックアップはあったか。
 - ↳ （事務局より）昨年度の事業実施にあたって、市役所関係窓口や公共施設へのチラシの配架など周知の支援を行った。
 - ↳ 4月からは参加者から会場費500円を払ってもらい、内容を拡充して講座を開催している。
 - 八潮市は駅前の開発が進んだことで子育て世帯や若い世代が増えており、地元（実家）から離れた場所で子育てする母親が多いのではないかと思う。母親同士のつながりをつくることや母親支援を拡充していく必要があると思い、活動している。
 - やはり行政から何らかの支援がいただければ、活動の幅が広がって、より多くの母親に快適な育児について働きかけができると思う。
 - ↳ （事務局より）子育て支援を行う子育て支援課と、ボランティア活動を行う市民協働推進課でご相談をお受けします。

- 講座の定員はどのように決定したのか。

- ↳ 八潮メセナ・アネックスを利用しており、部屋の定員が30人であった。参加者は親子2人以上で参加することやボランティア側の人数、個別対応が可能な組数を考慮し10組を定員とした。

<委員長による講評>

新型コロナウイルス感染症の流行下という厳しい状況でありながら、両団体とも積極的に活動していただき良い成果がうかがえた。また、周知に力を入れたり、参加者のニーズを今後に生かすような工夫がみられ素晴らしい。

協働は、市民活動団体と行政又は市民活動団体同士が互いに力を出し合うことが本旨である。市がより積極的に市民活動団体に関わっていくことで、協働のまちづくりが発展していくことが望ましい。

- (2) 令和4年度八潮市協働のまちづくり推進事業助成金助成事業の審査について

<事務局説明>

資料に基づき、事務局より説明を行った。

事業説明会

事務局による説明の後、令和4年度申請した2団体から事業説明について発表した。

- ① 特定非営利活動法人つながるネットワーク八潮
「防災の視点から地域づくりを考える事業」

<質疑応答>

- 講座の規模はどのようなものを考えているのか。

- ↳ 定員は30人程度とし、町会・自治会の役員や福祉施設の職員などを主な対象とするが、一般の方にも参加していただけるよう周知したいと考えている。

- ② 子ども応援団・結

「簡易的な街並みを用いた体験型安全教室」

<質疑応答>

- 前回は地域の方や教育関係者に参加していただいたそうだが、今回も対象は同じように考えているか。

- ↳ 活動内容を広く周知していくためにも、今回も教育関係者等を対象にしていく。

- 小学校単位、子ども会単位で繰り返し教室を開催することで、子どもたちが自分を守る力がついていくと思う。ぜひ頑張って活動を継続して欲しい。

- 前回の助成以降、活動は継続していたのか。

- ↳ 活動がメディアに取り上げられたこともあり、年度によって回数の偏りはあるが継続して活動している。運営資金は課題の一つであり、今後は参加者からワンコインいただく代わりに、金額に見合う内容や資料を用意するなど検討していきたい。

<委員による審査>

各委員による採点結果の報告及び意見の聞き取りにより、審査を行った。

- ※ 集計結果報告及び審査にあたっては、傍聴者との利害関係による影響をなくし、委員の自由な意見に基づいた公正かつ公平な審査を行うため、非公開とした。
- ※ 「①特定非営利活動法人つながるネットワーク八潮」の構成員である委員は一時退室し、「②子ども応援団・結」の採決から再度入室し採決に加わった。

⇒ 両団体ともに、助成対象事業として適正であると評価し、市に報告する。

5. その他

次回の委員会について

令和4年7月27日を予定

6. 閉会